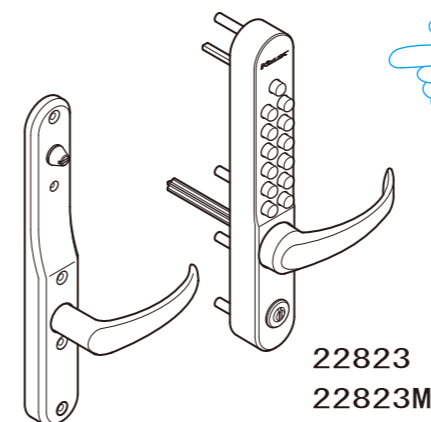


KEYLEX[®] 800

取扱説明書（施主様向）

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。
この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



防犯上、記憶番号の変更を定期的におこなうことと、施錠時に記憶番号以外のボタンを空押しすることをおすすめ致します。

〈記憶番号の記録〉

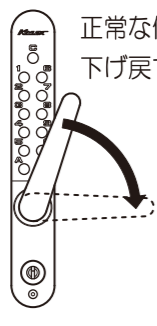
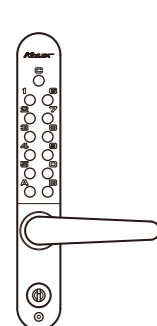
年 月 日
年 月 日
年 月 日
年 月 日
年 月 日
ただ今の記憶番号

レバーハンドルの位置が正常でない時

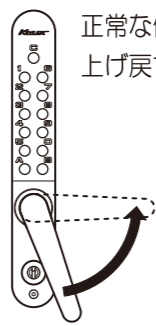
レバーハンドルの位置が、下図になった時は、正常な位置に戻します。

レバーハンドルに『こじ開け防止・安全装置機能』がついています。記憶ボタン操作をせず強引にレバーハンドル操作をすると内部機構保護のため安全装置が作動し、レバーハンドルが空転して、上（下）位置でとまります。故障ではありません。

正常な位置



正常な位置まで
下げ戻す



正常な位置まで
上げ戻す

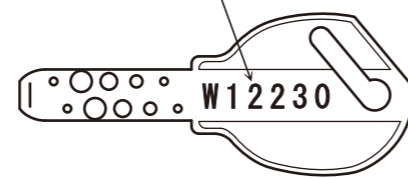
本図は右吊元時の室外側本体（左吊元は対称）

キーNo.の確認方法

二重リングを外し、黒い樹脂ホルダーとキーに分けます。



キーに刻印されたNo.をご確認ください。



記憶番号設定に関するご注意

- キーレックス800は1～12桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は設定できません。
例) 記憶番号 1・2・3 の場合
1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。
- 1つのボタンにつき設定は1回だけです。（同じボタンを2度押しする設定はできません）
例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。



注意 危険防止の為に以下をお読みください

- 取付時の注意
 - 各部取付ねじの締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。
- 取付ねじのゆるみ
 - 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為に定期的にし締めしてください。
- 受座の飛び出し
 - 受座の飛び出しが大きい場合、体を傷つけたり、衣服を引っ掛けるおそれがありますので、取付業者に依頼して適正な受座に取り替えてください。
- 他の用途への使用
 - レバーにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。
- ◆ 操作上の注意（故障の原因となります）
 - 製品の分解、改造はしないでください。
 - デッドラッチを突出させた状態で扉を閉めないでください。
 - ボタンを押しながら、レバーの操作をしないでください。
- ◆ 永くご使用頂くために
 - 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。
 - 表面の手入れは柔らかな布でから拭きしてください。特にボタンまわりは、定期的から拭きし、汚れがひどい場合は、中性洗剤を使用してください。



取り付けである建具などに異常がありましたら専門の業者にご相談ください。

NAGA
SAWA
www.nagasawa-mfg.co.jp

株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032

大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)
FAX. 06-6783-5092

基本操作

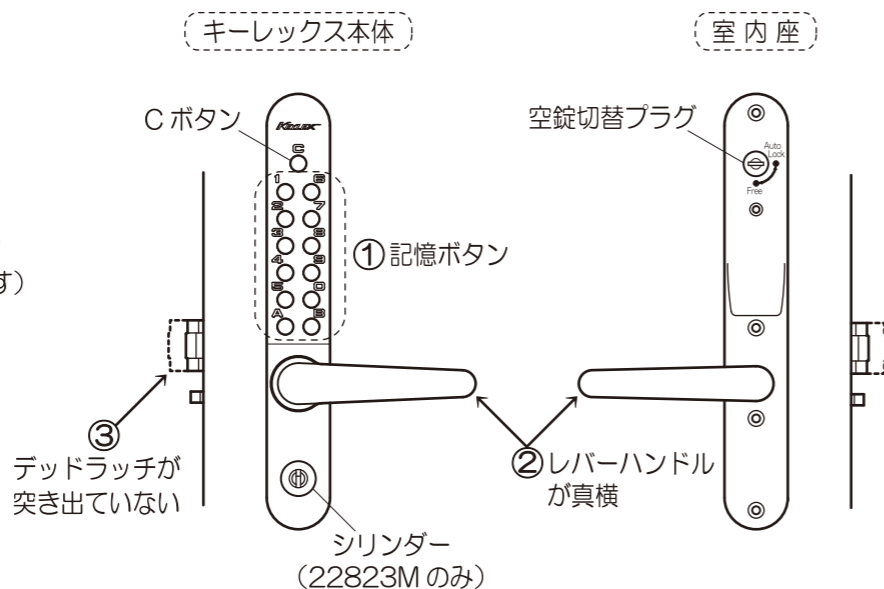
ご使用前に確認してください。

- 登録している記憶番号
- レバーハンドルが真横にある
- 錠のデッドラッチが突き出ていない
(突き出ている場合は、レバーハンドルを操作して、デッドラッチを正常位置に戻す)

※ 鍵付タイプ（品番末尾 M）の場合は記憶ボタン操作の代わりにキー操作でも開扉できます。

I：キーをシリンダーに入れ回す
(デッドラッチのみが引き込まれる)

II：キーを回したまま（戻さずに）、レバーを引いて（外開き時）開扉する



室内側

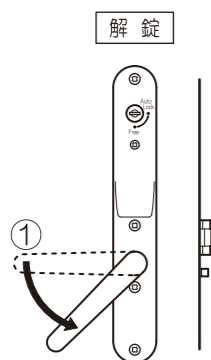
室外側

施錠

- 扉を閉めると、自動で施錠されます【Auto Lock 時】

解錠

- レバーハンドル操作で、解錠できます

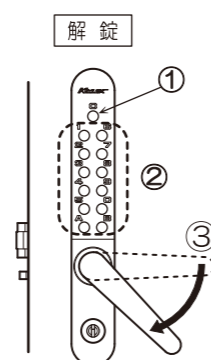


施錠

- 扉を閉めると、自動で施錠されます【Auto Lock 時】

解錠

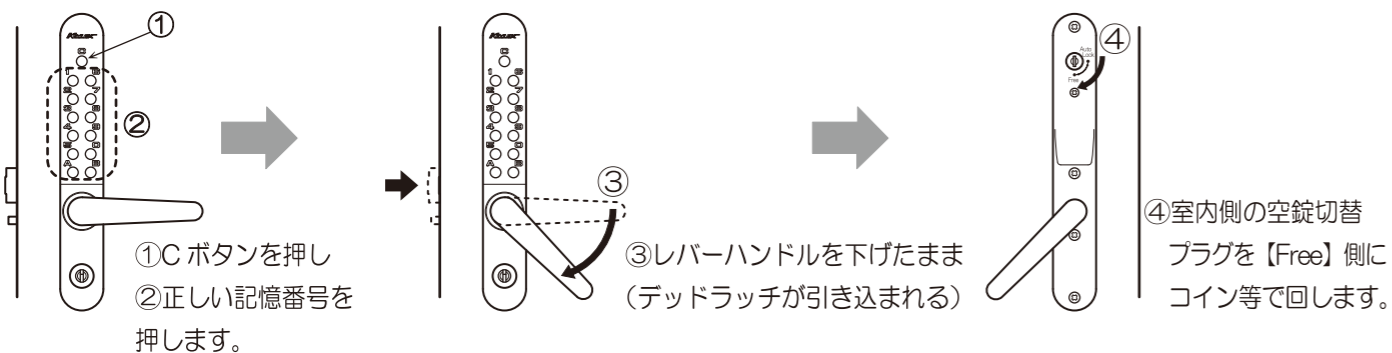
- C ボタンを押します：誤操作の記憶番号が解除されます
- 正しい記憶番号を押します
- レバーハンドル操作で、解錠できます



【鍵付タイプ】はシリンダーにキーを入れて回したまま扉を開けます（レバーハンドルは上がりません）

※ 本図は右吊元仕様です。左吊元時は対称です。

空錠切替プラグで、扉を閉めても鍵がかからない状態【空錠】にすることができます（【Auto Lock】から【Free】）。

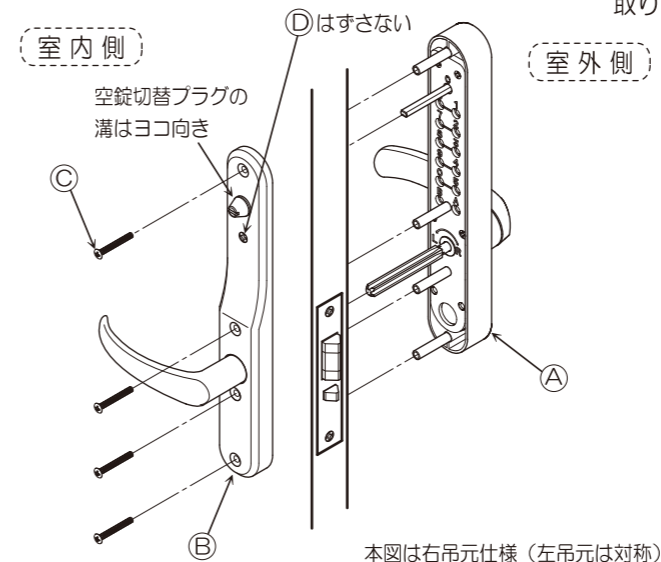


【Free】から【Auto Lock】へは、レバーを下げたまま、室内側の空錠切替プラグを【Free】から【Auto Lock】にします。

記憶番号の変更手順 扉は開けたままの状態でおこないます

【1】キーレックス本体を取り外します

②室内座の空錠切替プラグの溝はヨコ向き【Auto Lock】で外します。取り外した部材は全て使います。紛失しないようご注意ください。



本図は右吊元仕様（左吊元は対称）

I：◎ 本体固定ねじ 4 本をはすします。

◎ 室内座固定ねじは、はすさないでください。

(扉に室内座を固定しています)

II：◎ キーレックス本体を取りはずします。

【2】記憶番号の設定変更をします。

【記憶番号変更の準備】

- 本体表側の C ボタンを押します。

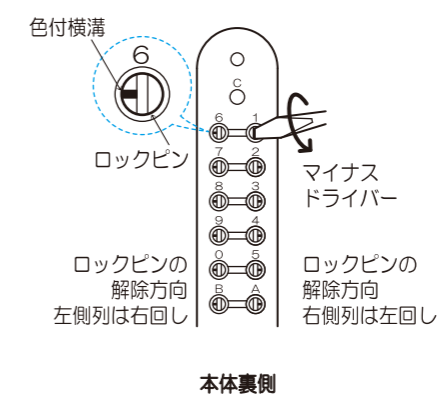
⚠ ⑦まで、記憶ボタンは押さないでください。

※ C ボタンを押さないと、内部部品が破損する場合があります。必ず押してください。

- 本体を裏返します。

【現在の記憶番号を解除】

- 本体裏側の、記憶されているロックピンを回転させて記憶されている番号を解除します。(ロックピンの色付横溝を外向きに回転させる)



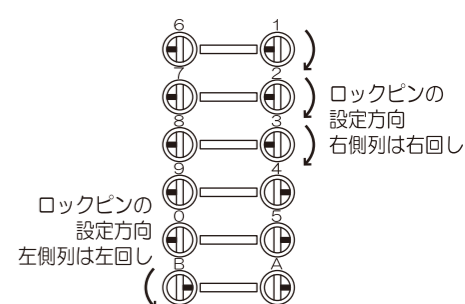
本体裏側

- ④ 本体を表側にします。C ボタンを押し、レバーハンドルが動くことを確認します。

【記憶番号の設定】

- ⑤ 新しく記憶させる番号は必ず記録してください。本紙表紙に記入欄があります。
- ⑥ 本体を裏返し、記憶させる番号のロックピン色付横溝を中央ライン側に合わせます。

例：B 1 2 3



ロックピンの設定方向
左側列は左回し

ロックピンの設定方向
右側列は右回し

- ⑦ C ボタン + 新しい記憶番号を押し、レバーハンドルが解錠方向に回ることを確認します。

基本操作 室外側欄を参照します。

【3】本体を取り付けます

【1】と逆の順番で取り付けます
空錠切替プラグの溝はヨコ向き【Auto Lock】で取り付けます（上図参照）。

取り付けたら、扉を閉めずに 2 ページの基本操作で作動確認をします。